

# 慶應医学会例会

下記により例会を開催いたしますので、多数ご来聴下さい。

記

日時 2016年2月23日(火) 18:30～

場所 総合医科学研究棟1Fラウンジ

演題 “From Keio to the NIH,  
towards the understanding of skin immunity”  
Keisuke Chris Nagao M.D., Ph.D.  
Dermatology Branch, Center for Cancer Research,  
National Cancer Institute, National Institutes of Health

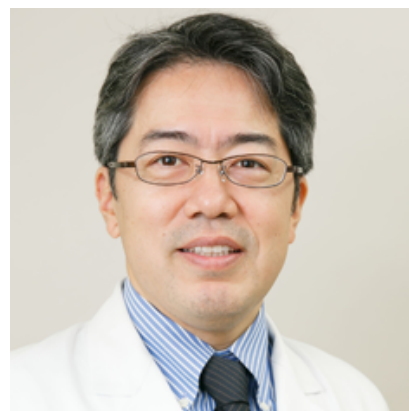


永尾圭介博士は『毛包』が備える免疫機能としての役割を明らかにした皮膚免疫の第一人者です。最近はアトピー性皮膚炎と皮膚細菌叢との関係(Immunity 2015)や皮膚の resident-memory T細胞と毛包との関係 (Nature Medicine 2015) についても重要な知見を報告されています。2014年に本塾医学部皮膚科学教室からスタッドマン主任研究員としてNIHに移られ、今後のご活躍が益々注目されている physician-scientist です。

当日は最新の研究成果のみならず、最先端の現場で永尾博士が感じられている点やNIHの環境、日米の違いについてもご講演いただく予定です。皮膚科学、免疫学の研究者だけでなく、若手研究者の皆様にとって、有意義なものになると期待しております。

皆様、是非奮ってご参集下さい。

担当：皮膚科学教室  
責任者：天谷 雅行 教授  
担当者：高橋 勇人 先生  
(内線 62411) 以上



主催 慶應医学会  
共催 慶應医師会

The Keio Journal of Medicine